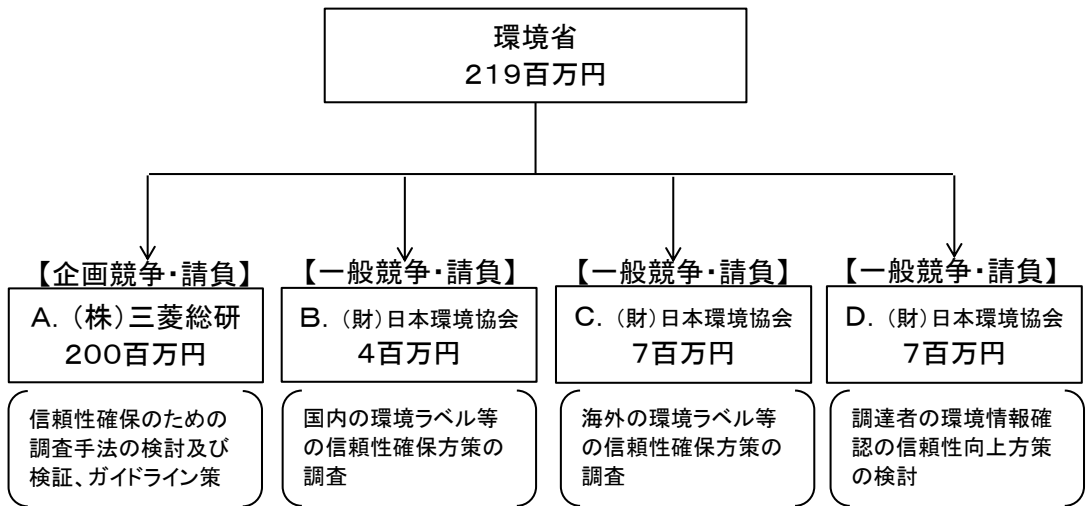


行政事業レビューシート (環境省)							
予算事業名		環境表示の信頼性確保のための検証事業費		事業開始年度	21	作成責任者	
担当部局庁		環境省総合環境政策局		担当課室	環境経済課	環境経済課長 石飛 博之	
会計区分		一般会計		上位政策	環境・経済・社会の統合的向上		
根拠法令 (具体的な条項も記載)		グリーン購入法第14条、附則第2項		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		古紙配合率偽装問題に端を発する一連の偽装により低下している環境表示に対する信頼性を回復させ、グリーン購入を拡大させるために、グリーン購入法に基づく特定調達品目を製造する企業が、環境表示の信頼性を担保するための手法を確立し、その手法を用いた検証を実施するとともに、将来的に企業、消費者の取組みで信頼性の高いグリーン購入市場を実現する手法を検討する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)		以下の内容を実施。①信頼性確保のための調査手法の検討及び検証(古紙配合率、再生プラスチック配合率)、②グリーン購入の普及拡大に不可欠な特定調達品目の信頼性確保に資するため、基本方針に掲載された品目について、調査手法、検証手法などを調査、検討し、環境表示のガイドラインとしてとりまとめ このほか、以下の3事業(請負)を実施。①国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査、②海外の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査、③調達者の環境情報確認の信頼性向上方策					
実施状況		古紙配合率、再生プラスチック配合率の調査手法の検討 古紙配合率の検証:350検体 特定調達品目の調査手法、検証手法の調査、検討:7分野120品目 国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査:26事例(環境ラベル以外を含む) 海外の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査:7カ国(地域) 調達者の環境情報確認の信頼性向上方策の検討					
予算の状況 (単位:百万円)			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額(補正後)	0	0	300	205	
		執行額	0	0	219		
		執行率	0.0%	0.0%	73.0%		
		総事業費(執行ベース)	0	0	219		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	審査委員会に提出された企画書により、支出先及び用途について把握。また、試験実施状況、調査結果、検討結果等について担当官との定期的な打ち合わせ及び報告により把握を行い、加えて業務完了後に提出された報告書によりまとめられている。					
	見直しの余地	Ⅱ②海外の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査は平成21年度で終了。平成22年度はこの成果も含めⅡ①の国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査において検討する予定。 なお、本事業で検討した手法を活用することにより、将来的に消費者や事業者の自主的な取り組みへと転換することが可能となる。					
予算・監視・所見率							
補記							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



[illegible]